

大会特別規定

1. チームは、試合開始予定時刻の1時間前までに球場に到着し、その旨を大会本部に申し出る。試合開始予定時刻になってもチームが球場に到着せず、それらについて何ら連絡がない場合には、棄権とみなす。但し、交通事情による到着遅延については、大会本部で協議して決定する。
2. 第1試合のメンバー用紙交換及び攻守決定は、試合開始予定時刻の30分前とする。（但し、開会式直後の試合は、開会式終了後直ちに行う。）第2試合以後は、前試合の4回終了後とする。各チームの主将は、所定のメンバー用紙を3通持参し、本大会本部に来ること。
3. 全試合、7イニングとし、得点差によるコールドゲームを適用する。但し試合成立は5回とし、暗黒・降雨によるコールドゲームは適用する。（細則第7項の試合規程を適用する）
4. 暗黒・降雨などで試合が途中で中止になった場合は、5回以前に中止になった場合（ノーゲーム）でも、5回を過ぎ正式試合になって同点で試合が中止の場合でも、原則として再試合にしないで、翌日の第1試合に先だって特別継続試合を行う。但し、決勝戦は再試合とする。
5. ベンチは、抽選番号の若い方を1塁側とする。先攻・後攻はじゃんけんで決める。
6. シートノックは、後攻側より始めて、5分間以内とする。但し、状況によっては短縮または省略することもある。シートノックは、登録選手20名で行うものとする。
7. メガホンは監督のみ使用することができる。
8. バットリング、鉄棒等の球場への持ち込みを禁止する。
9. 事故防止のために、捕手のマスク・レガース・プロテクター・ヘルメットと打者、次打者、走者・ランナーコーチのヘルメットは必ず着用すること。
10. バット、マスク、ヘルメット等の用具は、試合前に審判員の確認に依じなければならない。
11. 突発事故が起きた場合に、一時走者を変えたいときは球審に申し出て、審判団が必要と認めた場合はこれを許可する。（臨時代走、投手を除く打順前位の者とする。）
12. 選手交代の申し出は、監督が行う。
13. ルール上の疑義に対しては、当事者と監督が直接、質問することができる。
14. 天候等（降雨・雷）によって、試合の進行を中断することがある。
15. 監督はファウルラインを超えてダイヤモンドの中に入れる。但しかけ足のこと。
16. 野球規則 3. 03 原注（投手は1イニングに投手以外の守備に2度以上つくことは許さない。）と野球規則 8. 06 原注（1イニングに投手へのアドバイスのためにタイムが2回とられた場合、自動的に投手交代になる。）は本大会で適用する。
17. 各チームの監督かコーチは、球場を去る前（試合終了30分以内）に本部に連絡し、次の試合の日程を確認する。
18. 監督・コーチは選手と同形、同意匠、同色の服装（帽子・ユニホーム・スパイク等）を着用する。
19. 準決勝第2試合終了後より決勝戦開始までは30分間の休憩時間を確保する。
20. グランド内での練習はシートノック以外は、ダイヤモンド以外で行う。
21. その他、上記特別規程に明記なきことは、全軟連の競技規則並びに IBA・boys 中学部運営規定細則に準じて行う。
22. 投手の投球制限については、1日7イニングまでとする。（尚、3分の1イニング〈アウト1つ〉未満の場合であっても1イニング投球したものとして数える）

競技上の注意事項

1. 天候等による大会実施の可否については、各チームに大会本部より連絡する。
2. 攻守交代は全力疾走で行い、先頭打者とベースコーチはミーティングに参加せず、直ちに所定の場所につくこと。
3. 攻守交代のとき、投手又はプレートに最も近い野手がボールをプレート近くに置くこと。
4. 打者はみだりに打者席をはずしてはいけない。サインは、打者席から見ること。
5. 無用のタイムは慎み、試合進行に協力すること。
6. 試合中のグラウンド内では、次打者以外は素振りなどをしてはいけない。その際投手の投球が始まったら、次打者は、次打者席で低い姿勢で待つこと。
7. テーピングは投手の指先は禁止とし、その他については審判団の判断に従うこと。
8. ファウルボールの処理は、両チームが行う。
9. 本塁打を打った打者に握手を求めるため、グラウンドに出てはいけない。
10. 「野次」は絶対に慎むこと。
11. 中学生らしくない危険なプレーは行わないこと。
12. 選手は、スポーツマンとして恥ずかしくない態度をとるように心がけること。
13. 試合終了の挨拶は、ホームプレートをはさんですべて完了するものとし、次の試合のために速やかにベンチをあけること。
14. 応援団は、次の禁止事項を守ること。なお、これについては各チームの監督、コーチが責任を持って指導すること。
 - (1) 紙吹雪、紙テープ、個人名を書いたのぼり等の使用。
 - (2) 「野次」など相手チームに不利になるような応援。
 - (3) 応援席を散らかしたまま帰ること。
15. ノッカーは次の事項を守ること。
 - (1) 選手と同一のユニフォームを着用すること。
 - (2) サングラス：ミラー型のサングラスは使用禁止。その他については審判団の判断に従うこと。
16. スコアカード（本部で用意）に自分のチームの攻撃のみを記録し本部に提出する。